第117回 理事会(平成19年度第3回)議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時: 平成19年9月1日(土) 10:00~11:50
2. 場 所: 神奈川県社会福祉会館4階第3研修室(横浜市神奈川区沢渡4-2)
3. 出席理事: (副会長)野地 澄雄、山田 隆
(専務理事)片 忠夫
(常務理事)三塚 康雄、菊地 富士夫、木村 徳善、上田 英之
(理事)徳本 進、藤田 浩介、荻野 恭宏、金子 理人、国島 みどり、
吉野 大成、清水 忠、百海 廷、小池 光、平沢 幸一、
斎藤 幸雄、平賀 淳夫、吉岡 去私
書面票決: (会長)河野 洋平
(副会長)八尾 勉
(理事)川田 光代、岡本 洋一、森本 珠水
4. 出席監事: 内海 雄三
(欠席) 木村 信吉
5. 議長選出: 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出: 百海 廷理事、吉岡 去私 理事を選出
7. 書記: 安藤 努 広報委員を指名
8. 議 事

開 会 山田副会長が開会の挨拶を述べた。

1) 競技本部関係

(1) 報告事項
特になし

(2) 審議事項

財団法人神奈川県体育協会の平成19年度競技力向上合同課会議宿泊研修会への参加について菊地本部長より、財団法人神奈川県体育協会の平成19年度競技力向上合同課会議宿泊研修会への参加について提案がなされ、旅費規程に基づき派遣することで承認された。

S A Jドクターパトロールの推薦について

菊地本部長より、伊勢原スキー協会の椿原会長(60歳)・整体師をS A Jドクターパトロールに推薦したい旨の提案がなされ、了承された。

菅野元揮君の支援について

菊地本部長より、有志による「菅野君を支援する会」が発足したことから、ホームページへの掲載、イベントでの呼びかけを通して、県連として支援したい旨の提案がなされ、了承された。

2) 教育本部関係 (配布資料;「第117回理事会(平成19年度3回) 教育本部」)

(1) 報告事項

木村本部長より下記報告があり、了承された。

S A Kツール作成作業・打合せ

期日: 8月14日(火) 県連事務所

出席者：木村本部長、清水、岡本、森本、小池各理事

指導員研修会（理論）講師の手配状況

SAJ 平川教育本部長の日程調整がつかず、引き続き講師の手配をお願いしている。

スノーボード技術選南関東大会会場について

富士見パノラマリゾートが使用できなくなり、石打丸山スキー場で開催する。

強化選手体力測定について

期日：9月22日（土）順天堂大学 強化委員会にて開催予定。

正副委員長会議開催について

日程未定であるが、今月実施の予定

日赤救急員養成講習会の開催について

期日：9月16日（日）～17日（月） 場所：愛川ふれあいの村

教育本部拡大会議について

期日：10月13日（土） 場所未定 にて開催予定

環富士スキー技術選・親睦ゴルフ大会について

期日：9月2日（日）～3日（月）

野地副会長、山田副会長、片専務理事が参加予定

SAJ教育本部報告について

上田総務本部長から、6月30日（土）に開催された、SAJ教育本部会について次の報告があり、了承された。

イ）スキー技術選全国予選会の新設について

八方尾根スキー場にて土日2日間で開催予定。スポンサーは未定。男子40名、女子20名の出場枠が増える。個人エントリーとなるが、県連の許可を得る。コーチを付けることが提案されている。

ロ）SAJユニホームの変更について

今年度ユニホームを変更する。着用の要請は、オフィシャルな全日本行事。当県の対象行事は南関東ブロック研修会。

ハ）その他

カービング選手権の休止。スキー大学の日程決定。有資格者の資格復活の検討。技術選3年間同一会場実施で決定。

（2）審議事項

特になし

3）総務本部関係（配布資料；「第117回理事会（平成19年度3回）総務本部」）

（1）報告事項

次の各理事からの報告があり、了承された。

慶弔関係について（上田総務本部長）

押川顧問 見舞金1万円

菅野さん 見舞金1万円

資金運用状況について（藤田理事）

藤田理事より、7月末現在残 5,522,894円 前期比200万円多い旨報告がありました。内容は、前期のプラス分と特別会計の89万円

個人情報保護委員会（徳本事務局長）

徳本事務局長より、年1回の個人情報の教育を、次回の理事会に計画、また専門委員についても、イベント等で時間を借りて教育を実施したい旨報告があり、了承された。

広報委員会（金子理事）

金子理事より、「SAKだより54号」6100部を本日配布する旨報告があり、了承された。

財務委員会

上田総務本部長より、本日提案出来ないが積立金名称の問題を整理している旨報告があり、了承された。藤田理事より消費税申告は、3期分40万円を納付した旨報告があり了承された。追徴金は、金額がまだ不明。

登録状況

荻野理事より登録締切りは10月10日まで、郵送でお願いしている。移籍届けは、東京から1名、千葉へ移籍1名あることが報告され了承された。

(2) 審議事項

指導員会後援事業について

上田本部長より、スキー指導員会後援事業について、SAKツール235P～245PのNo. 0～11までの12行事の提案がなされ、承認された。

平成18年度決算特別会計の修正について（別紙特別会計決算書参照）

藤田理事より、ジュニア強化モデル事業の補助金、旅費交通費、消耗品の訂正について提案がなされ、承認された。残高合計は変わらない。県体協からの指摘があり、修正する。理事会承認後、評議員へ書面にて修正をしたい旨を伝え、教育長、県体協へお詫びと共に修正文章を送付することとなる。

菊地本部長より県体協からの国体補助金を特別会計にできないかとの要望があったが、上田総務本部長より、提案があれば審議する。予算上の問題であるため、次年度に向けての検討となる。

川田理事の見舞金について

片専務理事より、川田理事に癌が発見され、手術のため約2週間入院した。専業主婦であり、休業の解釈が難しいが、規定に基き見舞金を出したい旨提案がなされ、承認された。

4) その他

嘆願書の取り扱いについて

清水理事より、昨年提出した嘆願書の取り扱いについて質問があり、質疑の結果、常務会を開催し、対応を決め、その内容を理事会へ報告することとなった。

閉 会 野地副会長が閉会の挨拶を述べた。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成19年9月22日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印